

平成30年度
豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会資料

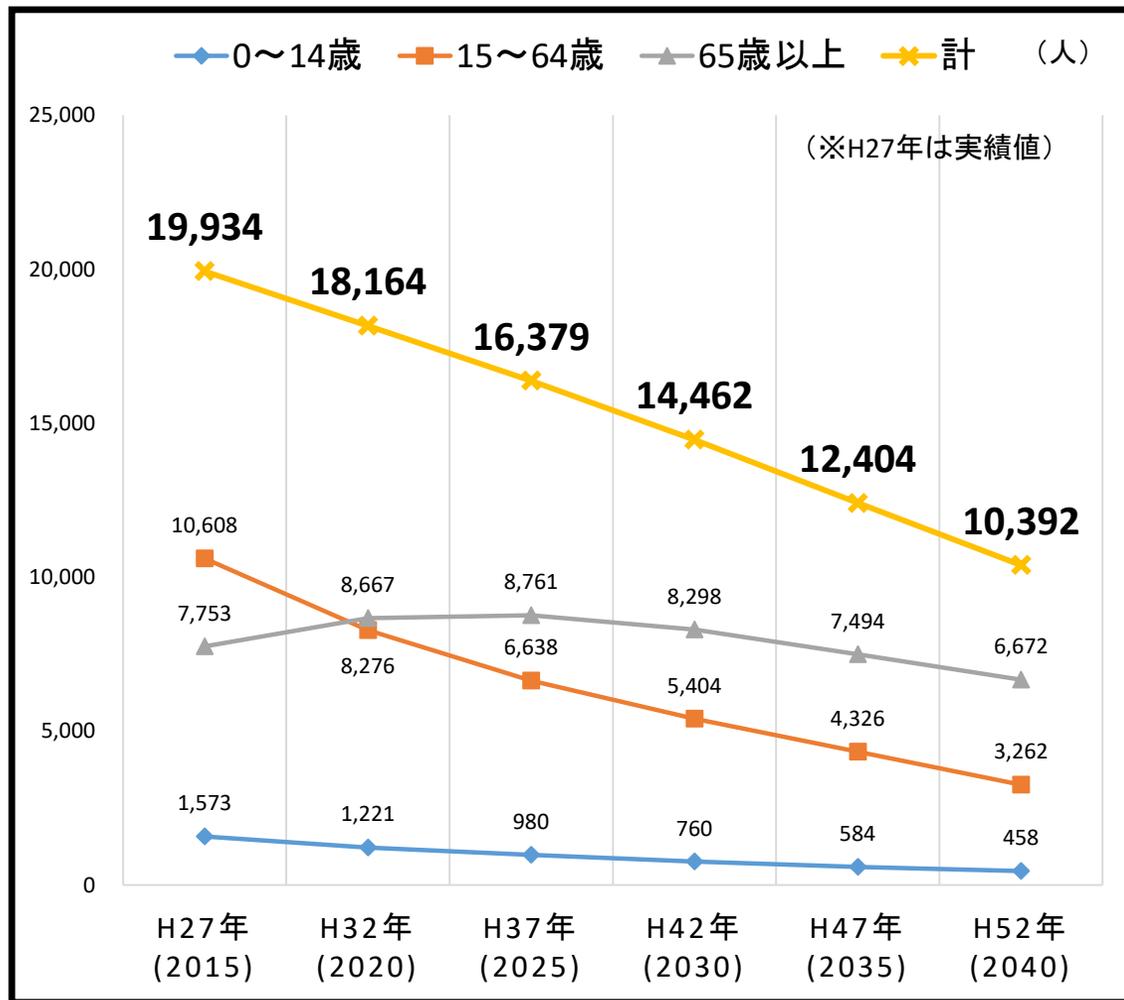
目次

- | | |
|---|-----|
| 1.人口推計について | p1 |
| 2.豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略について
（「地域再生計画」制度活用による計画の実施） | p5 |
| 3.【地域ぐるみの定住促進】について
(1)各年度の位置づけH29年度実施内容
(2)平成29年度事業実績
(3)KPIの状況
(4)平成30年度実施内容 | p8 |
| 4.【農×観光戦略】について
(1)各年度の位置づけH29年度実施内容
(2)平成29年度事業実績
(3)KPIの状況
(4)平成30年度実施内容 | p14 |

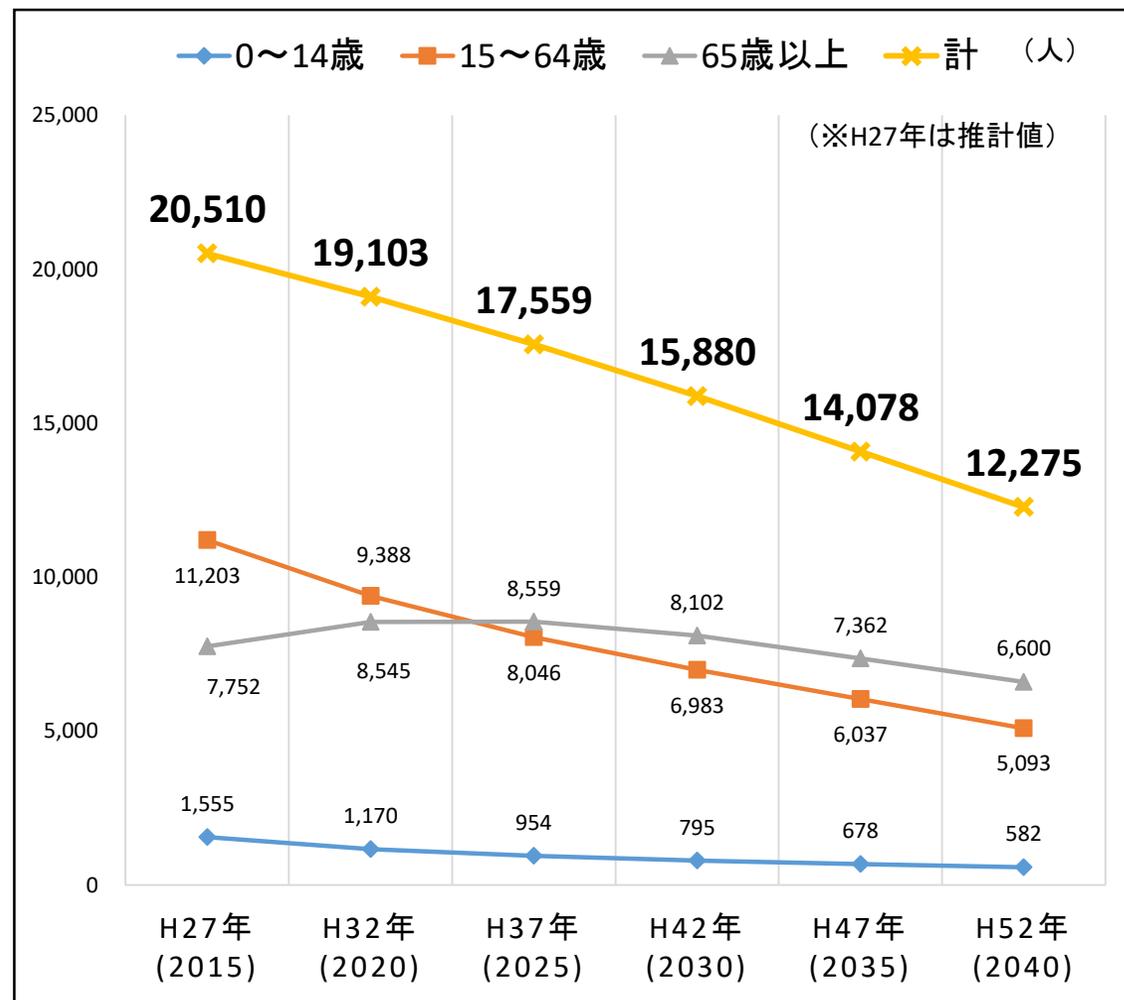
1.人口推計について

○総人口の見通し（国立社会保障人口問題研究所（社人研）最新推計）

平成30年版（平成27年国勢調査に基づく推計）

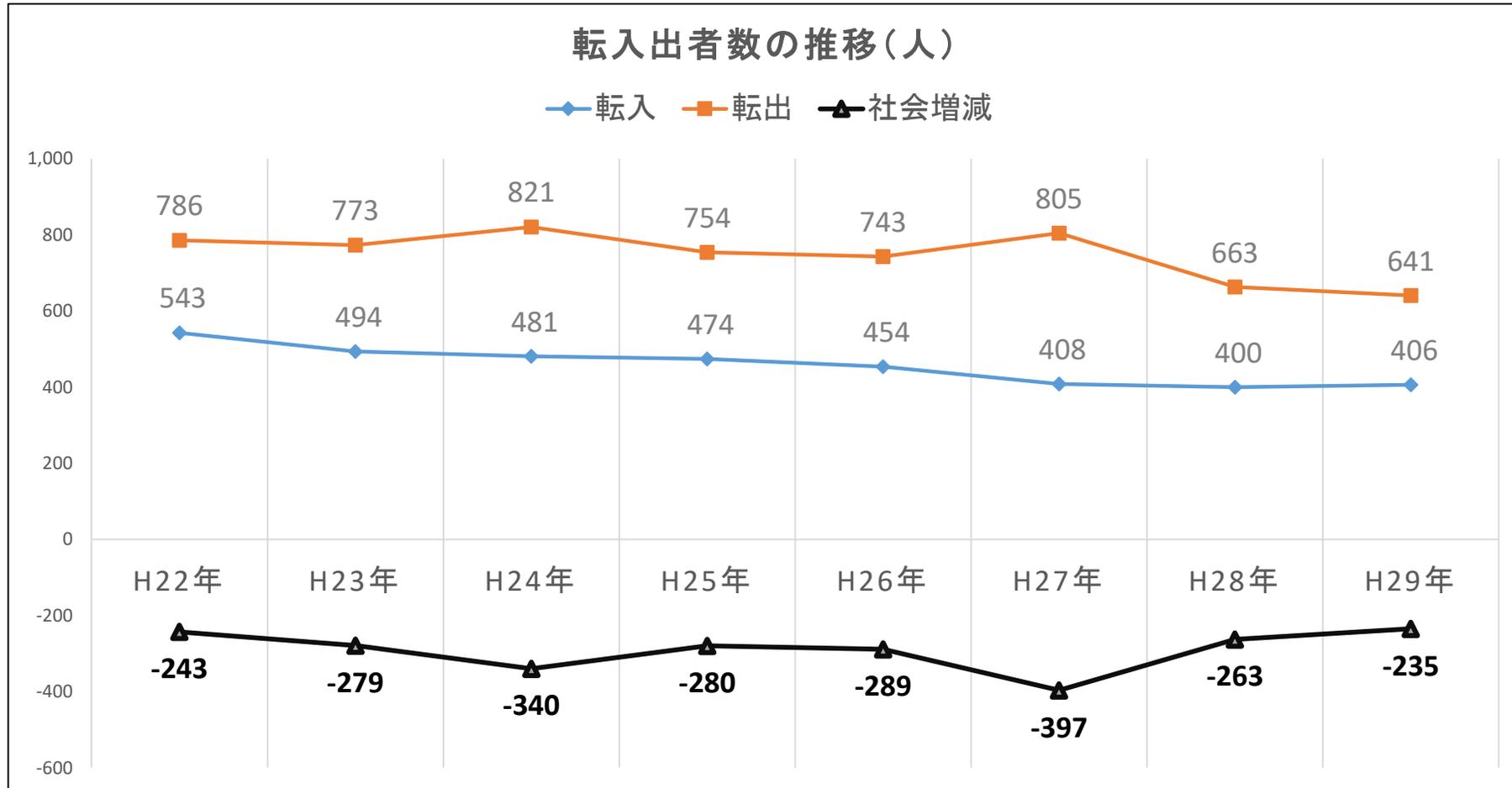


平成25年版（平成22年国勢調査に基づく推計・豊能町人口ビジョンに掲載）



人口ビジョン推計よりも15～64才が大幅に減少。H27年国勢調査により、若年層の純移動率（転入超過の割合）が下がったことが大きな要因

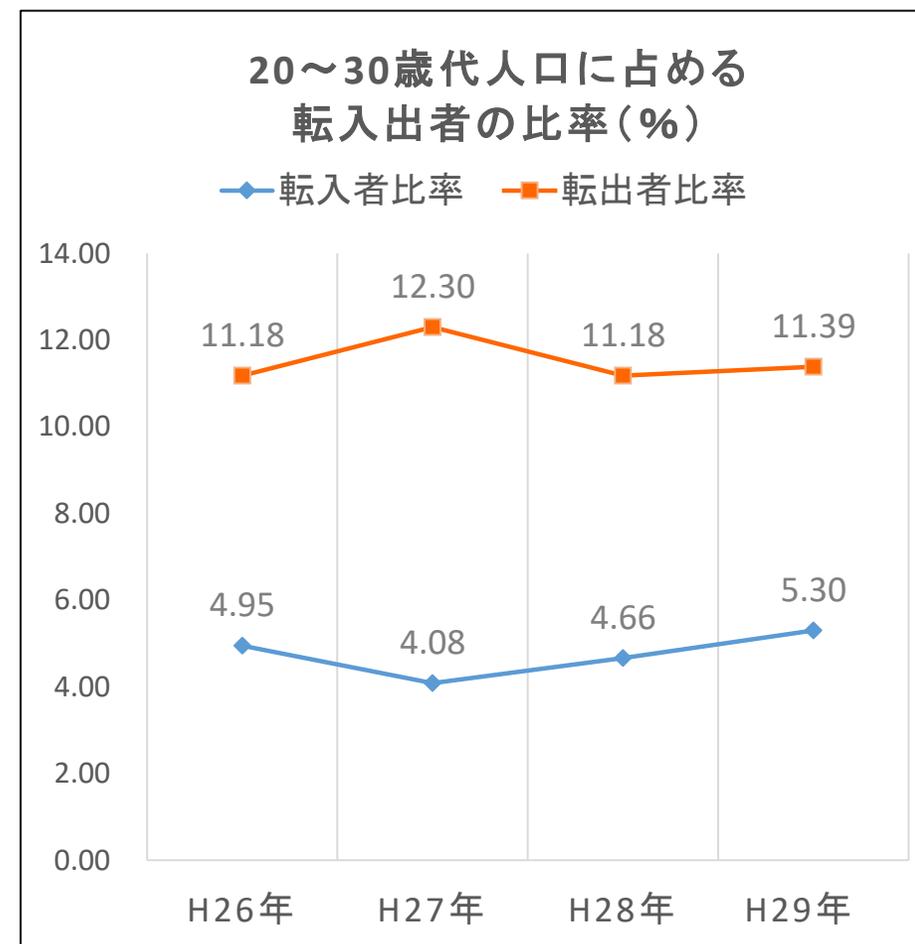
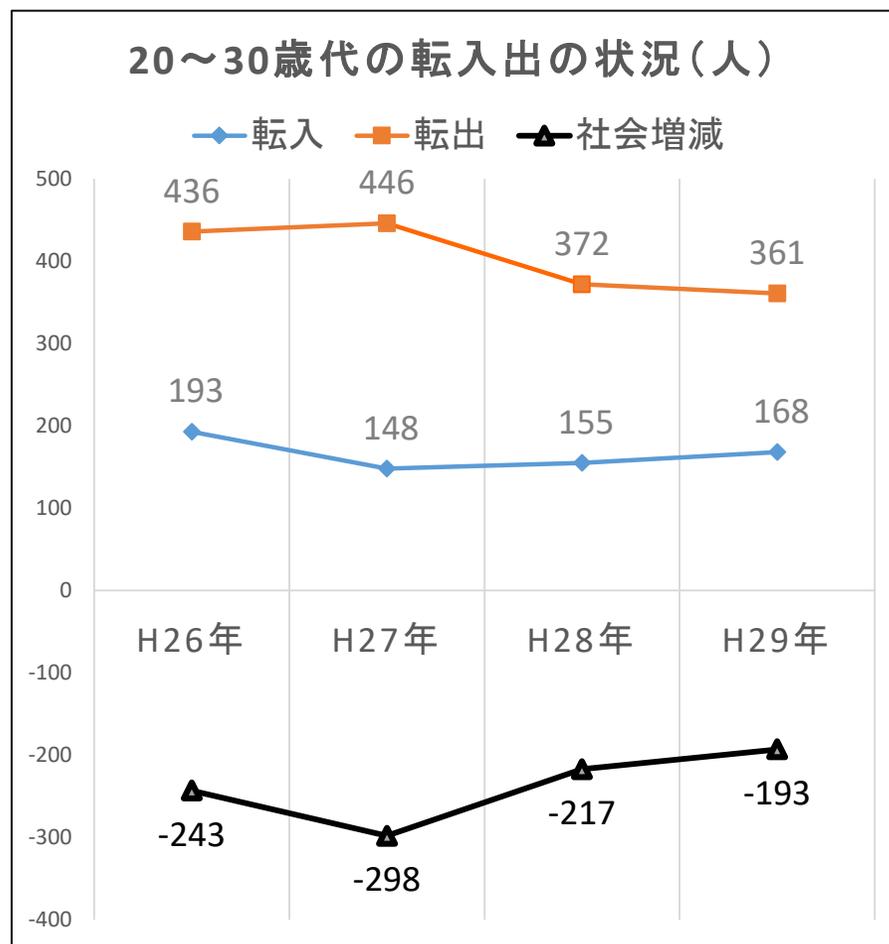
(参考1) 住民基本台帳による社会増減の状況
(住民基本台帳人口移動年次報告(1~12月の計))



平成27年(国勢調査実施年)は社会減が最も多くなり、その後回復しつつある

(参考2) 住民基本台帳による20～30歳代社会増減の状況

(住民基本台帳人口移動年次報告(転入出は1～12月の計、人口は1月1日現在で算出))

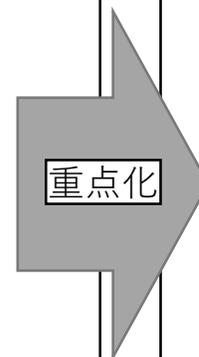


総人口同様、平成27年に大幅に社会減となり、その後回復しつつある。人口に占める転入出の割合も同様の傾向となっている

2.豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略について （「地域再生計画」を活用した戦略の実施）

①総合戦略とアクションプラン

豊能町まち・ひと・しごと創生総合戦略
基本方針
「人口減少に歯止めをかける」「人口減少・超高齢社会に対応する」
<p>基本目標Ⅰ 若年層が選びやすい環境を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 住宅の多様化と流通の促進 (2) 効果的なシティプロモーションの実施 (3) 公共交通の利便性の向上 <p>基本目標Ⅱ 「住みたくなる」子育て環境をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造 (2) 豊能での子育てをかなえるためのサポートの充実 (3) 子育てをしながら働きやすい環境の整備 <p>基本目標Ⅲ 地域の資源をしごととお金にかえる</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 新たな観光パッケージやビジネスの創出 (2) 次世代につながる農業の活性化 (3) 新しい地域のしごとづくりへの支援 <p>基本目標Ⅳ 避けることができない未来にそなえる</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域包括ケアと連携したまちづくりの推進 (2) コミュニティ力の維持・強化の支援 (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント



総合戦略アクションプラン
<p>【地域ぐるみの定住促進】</p> <p>【農×観光戦略】</p> <p>【つどいの場づくり (教育・子育てとコミュニティ)】</p> <p>【地域による総合戦略の推進】</p>

② 「地域再生計画」制度（※）を活用したアクションプランの実施

地域再生計画（地方創生推進交付金）

【地域ぐるみの定住促進】

- ・定住促進にかかる一体的な推進組織の構築による目標の共有や事業連携
- ・移住や住宅流通にかかる総合的な「住まいの相談窓口」の設置
- ・住宅の多様化やシティプロモーションにかかる戦略的なプランの策定・実施

地域再生計画（地方創生推進交付金）

【農×観光戦略】

- ・農業と観光の事業を一体的かつ戦略的におこなう推進組織の構築による目的の共有や事業連携
- ・市場調査等に基づく農×観光戦略の策定及び実施
- ・特産品開発やブランド化、安定的な供給体制と販路の整備
- ・チャレンジショップの開設、モニターツアーの実施等による事業の推進

【つどいの場づくり （教育・子育てとコミュニティ）】

- ・「つどいの場」づくりにかかる地域関係者の課題・解決方法の調査研究と共有
- ・「場」に求められる機能、規模、又はつどいの“しかけ”等を整理
- ・試験的な拠点運営による担い手の育成・発見

【地域による総合戦略の推進】

- ・地域（自治会等）自らが地域課題の整理・見える化や、解決に向けたプラン、客観的指標を定めた“地域ビジョン”を策定。地域特性や自主性を尊重しつつ、総合戦略の課題解決やKPI向上に資するものを対象とする
- ・専門家招へいやワークショップを通じ、プラン策定や人材育成を行う
- ・ビジョンに基づく事業を実施し、PDCAを行っていくとともに各地域における取組の情報共有や連携を行う

上記計画の予算や事業の仕組みを活用、連携し、事業を実施

※地域再生法に基づく3ヵ年計画を策定し、内閣総理大臣認定により関連費用の支援を受けることができる。各計画毎にKPIを設定

3. 【地域ぐるみの定住促進】 について

(1) 各年度の位置づけ

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
<p>【マーケティング等による プランニング・事業の立ち 上げ】</p> <p>○地域参画によるシティプ ロモーションプラン</p> <p>○住まいと暮らし多様化プ ロジェクトの取りまとめ</p> <p>○住まいの相談窓口の立ち 上げ</p> <p>→平成29～31年度地域再生 計画へ</p>	<p>【地域における意識・機運 醸成や基盤整備】</p> <p>○協働による地域ブランド 推進のスタートアップ・人 材発掘や育成</p> <p>○住宅多様化の基盤整備、 地域や民間事業者参画の機 運醸成・モデル事業の実施</p> <p>○住まいの相談窓口運営の 事業形成・人材育成・認知 の獲得</p>	<p>【モデル事業の実施・事業 改善・人材発掘・育成の継 続】</p> <p>○ブランドメッセージの定 着・研磨と発信、地域メ ディアとしての自立化等に 向けたチャレンジ</p> <p>○新たなブランド推進人材 の発掘・育成</p> <p>○住宅多様化のモデル事業 の実施</p> <p>○「住まいの相談窓口」の 継続・自立化に向けた事業 検証・改善</p>	<p>【事業総括、自立化や集約 の検討】</p> <p>○ブランド推進組織の自立 化/関係事業者による機構化</p> <p>○地域によるブランド参画 の横展開・自立化</p> <p>○民間による多様化事業の 実現</p> <p>○「住まいの相談窓口」の 自立化</p>

(2) 平成29年度事業実績

① 協働による地域ブランド推進にかかる事業

○ブランディングや情報発信に関する事業

- ・協働によるブランドメッセージの策定
- ・トヨノノレポーター講座の開催
- ・トヨノノPORTALの立ちあげ

参考資料：トヨノノPORTALちらし

○シチズンシップ醸成や地域参画の仕組みづくりに関する事業

- ・こどもの哲学教室
- ・図書館における活動の担い手育成
- ・トヨノノドリームの事業構築
(「地域による総合戦略」アクションプランの一環として事前ワークショップを開催)

○連携体制の構築に関する事業

- ・シティプロモーション戦略会議の開催
(地域住民・能勢電鉄・のせでんアートライン関係者・不動産事業者・大阪府・町)



(2) 平成29年度事業実績

② 住宅流通・多様化推進にかかる事業

○住まいと暮らし多様化プロジェクトに関する事業

- ・異世代ホームシェアに関する調整（試行実施に関する調整・先進地調査など）
- ・トライアルステイ（お試し居住）実施に関する調整
- ・移住住み替え支援機構の活用に関する事業調整、準備等
- ・空き家を活用したつどいの場づくりの実施支援、調整

○「住まいの相談窓口」の運営に関する事業

- ・NPO法人との連携協定による空き家バンク、移住相談窓口の運営
- ・空き家等管理サービスの提供（有料）
- ・固定資産税納税通知書を活用した空き家所有者へPR
- ・住まいの相談窓口、地域不動産事業者、町の意見交換会



(3) KPIの状況 (目標値は対前年増加数)

	H28年度 (基準値)	H29年度		H30年度 目標	H31年度 目標	累計 増加目標
		目標	実績			
20～39歳社会減の減少数 (人) 【総合戦略KPI：社会増減±0人】 ※()内は社会増減の実数	設定時見込 (△240) 実績 (△217)	30 (△210)	24 (△193)	70 (△140)	140 (±0)	240 (±0)
シティプロモーションプラン・住宅 多様化推進計画に基づき地域が主体 となって行う事業の実現数 (事業) 【アクションプランKPI：13事業】 ※()内は実事業数	(1)	6 (7)	4 (5)	9 (16)	6 (22)	21 (22)
空き家バンクマッチング(契約の他物 件案内、登録者引き合わせ等を含む) 件数 (件) 【アクションプランKPI：20件】 ※()内は実件数	(0)	5 (5)	15 (15)	5 (10)	10 (20)	20 (20)

(4) 平成30年度実施内容

…29年度事業を基盤として各プロジェクトの発展や具体化を推進しつつ、それぞれの課題に応じた対策を実施。加えて新たに「女性活躍」の視点から人材発掘・育成・つながりづくりを行う事業を展開する

○トヨノレポーター自立化支援（交流会実施やスキルアップ支援等）

○トヨノドリームによる地域提案事業の支援

参考資料：トヨノドリームフライヤー・審査結果

（自由提案、空き家活用、女性活躍、図書館活用の枠を設け、地域による総合戦略を支援）

○（女性活躍）人材育成事業（とよのわたし研究室）

○（女性活躍）マルシェ支援事業

○トヨノ異世代ホームシェアの試行実施、マッチングの開始

○トヨノトライアルステイ（お試し居住）

○JTI（移住住み替え支援機構）活用講座の開催や空き家にかかる合同セミナーの実施

○空き家所有者に対する住宅活用の意向調査

○住まいの相談窓口・地域不動産事業者連名によるチラシの作成、固定資産税納税通知への封入

4. 【農×観光戦略】について

(1) 各年度の位置づけ

平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
<p>【マーケティング等による プランニング・事業の立ち 上げ】</p> <p>○農業や観光に関する関係 者による事業推進体制の立 ち上げ</p> <p>○農×観光戦略策定</p> <p>○直販所チャレンジショッ プの開設</p> <p>→平成29～31年度地域再生 計画へ</p>	<p>【農×観光戦略に基づく事 業のスタートアップ】</p> <p>○並行して実施した農業法 人設立支援事業等において、 町の農業の抱える問題点や 住民ニーズが明確になりつ つあり、それらを踏まえた 事業を展開</p> <p>○専門的なアドバイスや ネットワーク会議における 検証を行いながら、KPIの 達成に向けた基礎作りを行 う</p>	<p>【事業の進捗や問題点整 理・事業の完成度を高め る】</p> <p>○各事業が自立に向けた具 体策を講じ、最終年に向け た事業を展開</p> <p>○道の駅や高山コミュニ ティセンター等観光拠点と なる施設の基本構想に対応 した実施設計や地域との調 整</p>	<p>【これまでの成果を持続さ せるための問題点の最終整 理】</p> <p>○農業法人の設立</p> <p>○施設の開設に向けて、関 係機関との調整と、施設建 設に向けた具体的スケ ジュールの確定</p>

(2) 平成29年度事業実績

① 農業法人設立に向けたチャレンジ

- 農産物直売所の自立と法人化に向けたチャレンジショップ運営支援（うち店舗の賃貸借は町が行う）
- チャレンジショップ供給基盤安定等を図るための農業用パイプハウスの設置補助
- 新規就農者希望者等に対する就農支援



参考資料

- ・志野の里運営状況

(2) 平成29年度事業実績

② 地域による戦略事業の実施

- 特産品メニュー開発のための事業経費と特産品消費拡大等ブランド化支援に対する補助
- 地域住民による高山右近夫妻顕彰等観光客誘致の関連イベント等観光戦略実施補助
- 地域住民との協働による農産物販売等拠点・滞在拠点施設整備基本構想策定

参考資料

・道の駅基本構想概要版

(2) 平成29年度事業実績

③ 農×観光戦略関係者のネットワーク化

- 学識経験者・農業者・地域活性化活動団体代表・旅行事業者・専門アドバイザー等の参画による農×観光戦略ネットワーク会議の運営（事業の進捗状況の確認とPDCA）
- 「観光ルート・回遊ネットワーク創出」「魅力発見・コンテンツづくり」に向けた現地調査の実施
- 農×観光セミナーの実施

参考資料

- ・「観光ルート・回遊ネットワーク創出」現地調査抜粋

(3) KPIの状況 (目標値は対前年増加数)

	H28年度 (基準値)	H29年度		H30年度 目標	H31年度 目標	累計増加 目標
		目標	実績			
農×観光戦略実施による交流人口(人) 【総合戦略KPI：15,000人】 ※()内は実人数	(10,000)	1,000 (11,000)	2,000 (12,000)	1,000 (12,000)	3,000 (15,000)	5,000 (15,000)
豊能ブランド特産品開発・認定数(品) 【アクションプランKPI：10品】 ※()内は実品数	(4)	2 (6)	2 (6)	2 (8)	2 (10)	6 (10)
農業法人設立数(法人) 【総合戦略KPI：1法人】 ※()内は実法人数	(0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (1)
農業・観光分野における新たな従事者数(人) 【アクションプランKPI：20人】 ※()内は実従事者数	(0)	0 (0)	0 (0)	5 (5)	15 (20)	20 (20)

(4) 平成30年度実施内容

…引き続き、農×観光戦略推進計画の具体化に向けた事業を実施するとともに、KPIに対する課題に対応するため、既存事業をより発展させ計画達成に向けた事業を展開する。

- 農産物直売所の自立と法人化に向けた町内外のチャレンジショップ運営支援
- チャレンジショップ供給基盤安定等を図るための農業用パイプハウスの設置補助（増額）
- 新規就農者希望者等に対する就農支援塾の実施
- 特産品メニュー開発のための事業経費と特産品消費拡大等ブランド化支援
- 地域住民による高山右近夫妻顕彰等観光客誘致の関連イベント等観光戦略実施補助
- 地域住民との協働による農産物販売等拠点・滞在拠点施設整備基本計画及び実施設計の策定
- 学識経験者・農業者・地域活性化活動団体代表・旅行事業者・専門アドバイザー等の参画による農×観光戦略ネットワーク会議の運営（事業の進捗状況の確認とPDCA）



曲がりくねって、ただいま。

大阪府 豊能町

OSAKA TOYONO TOWN